

「炭素」 投稿規定

2012年9月1日改正
2012年9月1日実施

1. 目 的

炭素材料学会機関誌「炭素」は、広く炭素材料に関連する独創的な論文、速報、総説類および興味あるトピックスを掲載して、炭素材料に関する研究の発展に資することを目的とする。

2. 投稿資格

投稿原稿の著者は、本会会員であることが望ましいが、会員以外からの投稿も歓迎する。

3. 投稿原稿の種類

投稿原稿の種類は炭素材料に関連する和文または英文の(1)論文、(2)速報、(3)ノート (Short Paper)、(4)総合論文、(5)総説、(6)解説、(7)技術報告、(8)資料、(9)炭素ニュースとする。論文・速報・ノートは印刷物として未発表のものとする。

3.1 論文

論文は炭素材料に関連する価値ある結論あるいは事実を含むもので、原稿の長さは刷上り6頁以内とする。

3.2 速報

新しい事実や工学的価値ある内容を含む速報性を要するもので、原稿の長さは刷上り2頁以内とする。

「速報」は速やかに査読を行い、採択されれば、原則として、受理日(投稿原稿が本会に到着した日)からみて次に出版される「炭素」に掲載する。ただし、受理日が次号の「炭素」出版日間近の場合は、次々号の掲載になる。

3.3 ノート (Short Paper)

断片的な研究ではあっても、新しい事実や工学的価値ある内容を含むもので、原稿の長さは刷上り3頁以内とする。

3.4 総合論文

総合論文は少なくとも著者の一人が既に発表した論文数編を簡潔にまとめて、それらの内容を元に質的に新たな知見や考察を加えたもので、原稿の長さは刷上り10頁以内とする。

3.5 総説

総説は炭素材料に関する特定の問題について、他の研究者の研究を含め広く、かつ普遍的に総括、説明しその分野に関する鳥瞰的な視野を与えること、そしてそれらの研究に対する著者の観点が明確に示されていることが必要である。原稿の長さは刷上り10頁以内とする。

3.6 解説

解説は特定のトピックについて平易に解説したもので、原稿の長さは刷上り10頁以内とする。

3.7 技術報告

技術報告は、日頃、実験・研究・製造に携わっている大学院生や現場技術者による、実験装置、設備の工夫や試験、運転の新しい知見、新しい測定の方法や原理などのアイデア、そして各個人、法人の所有する特許の概要などを、簡潔にまとめたものとする。原稿の長さは刷上り3頁以内とする。

3.8 資料

資料は研究、技術に関する参考資料および調査、集計報告などで、原稿の長さは刷上り3頁以内とする。

3.9 炭素ニュース

炭素ニュースは編集委員会宛通信、炭素談話室、ニュースなどで、原稿の長さは原則として刷上り1頁以内とする。

4. 投稿手続きおよび原稿の取扱い

投稿原稿の著者は、本誌の目的に沿う内容について日本語または英語で記述する。投稿原稿は投稿規定ならびに投稿の手引きに従っているかチェックリストを利用して確認のうえ、原稿のMS-WordあるいはPDFファイルを提出する。なお、編集委員会・編集室において本文、図表および写真の品質が査読に堪えないと判断した場合には、再提出を求めることもある。本文および図表は、別紙「投稿の手引き」に準じて準備し、特に平易な言葉で一義的な文章をめざし、推敲したものを提出すること。また、文献引用は必ず別紙「投稿の手引き」に準じて引用すること。申込みは下記のE-mail AddressにE-mailで行い、投稿原稿はE-mailに添付して提出する。また投稿原稿のE-mail添付が困難な場合(容量が大きいため:10MBを越す場合)は原稿の入ったCDを下記の住所に送付する。

E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19

(株)国際文献印刷社内
炭素材料学会 編集委員会

TEL: 03-5389-6492, FAX: 03-3364-0041

投稿原稿の採否は編集委員会が決定する。編集委員会は投稿原稿について著者に訂正を求めることができる。

4.1 受理および採択

原稿が本会に到着した日をもって受理日とし、編集委員会が採択を決定した日を採択日とする。

4.2 査読

編集委員会は受理された投稿原稿を適切な査読者に査読依頼する。

4.3 再提出

査読の結果、書き直しのうえ再提出を求められた原稿は、3ヶ月以内に提出しなければならない。ただし速報の再提出は2週間以内とする。

4.4 著作権

炭素材料学会機関誌「炭素」に掲載された記事の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限、ならびにインターネット上での公開などにかかわる公衆送信権は炭素材料学会に帰属する。掲載記事(英文要旨も含む)のデータベース化、二次的使用、電子的/光学的複写の許諾権は炭素材料学会に委託されたものとする。また、これらによる使用料は炭素材料学会に帰属する。著者が「炭素」に掲載した記事をインターネット上で公開する場合には、事前に炭素材料学会から許諾を受けるとともに権利表示ならびに出典表示すること。

4.5 Web公開

炭素材料学会機関誌「炭素」に掲載された、論文、ノート(Short Paper)、総合論文、総説、解説、技術報告については冊子体の発刊後一定期間を経たのちにWeb上にて公開する。速報については冊子体の発刊後、速やかにWeb上にて公開する。

投稿の手引き

1. 原稿の作成について

原稿はMS-Word (Windows版, Mac版) を用いて作成すること。

1.1 原則として, 印字は明朝体を用い, 10~12ポイントのサイズを使用すること。

1.2 用紙はA4判縦置きで横書きに使用し, 上下左右に各30mm程度の余白をとり, 35字×32行程度とする。

1.3 採択決定後, 最終原稿の入った電子ファイル (MS-Word file) を提出すること。

2. 表題

表題は簡潔で, かつ本文の内容を適切に表現するものであること。原稿の1枚目に表題, 著者名を記入し, 脚注で著者の所属機関およびその所在地を簡潔に記す。Corresponding Author (連絡著者) に*を付し脚注にE-mailアドレスを記す。

3. 英文要旨

論文, 総合論文, 総説, 解説には200語以内, 速報, ノート (Short Paper), 技術報告, 資料には100語以内の英文の要旨とその和訳, および, 5個以内の英文キーワードを添付する。英文要旨には題目, 著者名, 所属機関とその所在地の公式英訳名を記す。英文要旨はA4判用紙にダブルスペースで印字する。

4. 本文

4.1 文章は平易な口語体とする。やむをえない専門用語以外は常用漢字を用いる。

4.2 章の記号は1., 2., 3., …, 節の記号は1.1, 1.2, 1.3, …, 項の記号は1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, …の要領で用いる。なお, 速報およびノート (Short Paper) の場合は, 章, 節を必ずしも設ける必要はない。

4.3 略語を用いる場合は, 最初に使用する際に読者が容易に理解できるように説明を付ける。

例) 1) 熱処理温度 (Heat Treatment Temperature, HTT)

2) 走査電子顕微鏡 (Scanning Electron Microscope, SEM)

4.4 人名は原語を原則とする。

4.5 数学記号や物理量を表す記号, 数式などが多く用いられる場合は, その定義, デイメンションおよび説明を文末に一括して示す。

4.6 注釈は本文の脚注に作成し, 本文原稿右肩に*¹など記載して指定する。

5. 引用文献

5.1 引用文献は引用の順に通し番号を付け, 本文末尾に収録する。

5.2 本文中での引用箇所には, その文献の番号を上付き数字によって¹⁾, ³⁾, ⁵⁾, ⁶⁾, ³⁾⁻¹²⁾, などの要領で記す。

5.3 雑誌は本文が英文か否かにかかわらず, すべて英文にて記載する。本文が和文の場合は [in Japanese] と付記する。「著者全員の氏名, 雑誌名 巻数 (発行年) 論文の最初の頁-最後の頁」の順に記す。この場合, 雑誌名をイタリック体, 巻数をボールド体とする。

例) 1) H. W. Chang and S. K. Rhee, *Carbon* **16** (1977) 17-20.

巻数のない雑誌の場合は, 「著者氏名, 雑誌名 発行年 論文の最初の頁-最後の頁」の順に記す。この場合, 雑誌名をイタリック体, 発行年をボールド体とする。

例) 2) C. J. Kepert and M. J. Rosseinsky, *Chem. Commun.* **1999** 375-376.

但し, 本誌「炭素」の場合は号数を含めて以下のように記す。

例) 3) S. Mizushima, *TANSO* **1968** [No.52] 9-14 [in Japanese].

5.4 単行本は, 「著者氏名, 書名 (発行年) 最初の頁-最後の頁, 出版社」の順に記す。英文の場合は書名をイタリック体にする。

例) 1) T. L. Barr, *Modern ESCA* (1993) pp.121-123, CRC Press, Boca Raton.

編者がある場合は, 「著者氏名, 書名 (編者氏名) (発行年) 最初の頁-最後の頁, 出版社」の順に記す。

例) 2) 松尾陽太郎, セラミックスの力学的特性評価 (西田俊彦, 安田榮一 編) (1996) pp.135-138, 日刊工業出版社.

3) L. R. Radovic and F. Rodriguez-Reinoso, *Chemistry and Physics of Carbon*, Vol. 25 (P. A. Thrower, ed.) (1997) pp.243-358, Marcel Dekker, New York.

章の引用は次のようにする。

例) 4) N. Bartlett and B. W. McQuillan, *Intercalation Chemistry* (S. M. Whittingham and A. J. Jacobsen, eds.) (1982) Chap. 2, Academic Press, New York.

5.5 投稿中の論文で掲載が決定しているもの, 学位論文, 学会講演などは次のようにする。

例) 1) T. Aoki, The 44th Annual Meeting of the Physical Society of Japan, Chiba, 1990.3.15-18, 6a-M3.

2) 遠藤守信, 第15回炭素材料学会年会, 仙台, 1988.12.7-9, 2B05.

3) K. Nueangnoraj, H. Nishihara, M. Terauchi and T. Kyotani, The 37th Annual Meeting of the Carbon Society of Japan, Himeji, 2010.12.1-3, 1PII39.

4) S. Shiraishi, M. Kibe and A. Oya, *Carbon* 2004, Providence, USA, 2004.6.11-16, E022.

5) T. Terai, Dr. Thesis, Faculty of Engineering, University of Tokyo, Tokyo, 1983.

6) T. Terai, T. Furuta, K. Kusagaya and Y. Takahashi, *Jpn. J. Appl. Phys.* **30** (1991), in press.

7) B. W. Braams, Natl. Bur. Stand. Tech. Note 724 (1972).

8) S. Ishiyama, JAREI-M 90-164 (1990).

9) A. C. Smith, U.S. Patent 3390940 (1988).

10) 稲垣道夫, 日本学術振興会第117委員会資料 117-207-B-3 (1991).

5.6 同じ著者, 同じ雑誌や同じ単行本などの巻・年・ページが異なる文献を引用する場合でも *ibid*, *idem* などは使わない。

5.7 公表されていないものは原則として引用しない。

5.8 Web上にあるリソースについては極めて重要な場合, あるいは引用が不可欠な場合に限って引用を認め, 次のように記す。

例) 1) 炭素材料学会投稿規定, <http://www.tanso.org/contents/journal/notice2012.pdf>

2) The American Carbon Society Membership Form, <http://www.americancarbonsociety.org/forms/membership1.pdf>

6. 図, 表, 写真

6.1 図, 表, 写真中の文字およびそれらの説明は英文とし, 本文中では **Fig. 1**, **Table 1**, **Photo 1**, **Figs. 1-3** のように表す。この場合, 書体はボールド体とする。

6.2 図は A4判の用紙に黒色を用いて鮮明に描く。図は原則として横8.5cm以下に縮尺して掲載されるので, あまり複雑にならぬように十分注意にする。作図に際しては縮小したサイズで, 太線は

別表1 単位記号の例

物理量	SI単位	併用単位 許容単位	物理量	SI単位	併用単位 許容単位
角 度	rad, sr	°, ', "	電気抵抗	Ω	
長 さ	m	Å	コンダクタンス	S	
時 間	s	min, h, d	電気伝導率	S·m ⁻¹	
振動数, 周波数	Hz		静電容量	F	
質 量	kg		磁 場	A·m ⁻¹	
力	N		磁 束	Wb	
圧 力	Pa	bar, atm Torr	インダクタンス	H	
エネルギー	J	eV	磁束密度	T	
熱力学温度	K		粘 度	Pa·S	
セルシウス温度	°C		拡散係数	m ² ·s ⁻¹	
熱伝導率	W·(m·K) ⁻¹		光 度	cd	
物質質量	mol		光 束	lm	
電 流	A		照 度	lx	
電気量	C		放射能	Bq	Ci
電 圧	V		照射線量	C·kg ⁻¹	R
仕事率, 電力	W		吸収線量	Gy	rad

別表2 イタリック体に関する注意

本文中でイタリック体にすべき例 ・物理量を表す記号・変数: <i>g</i> (重力加速度), <i>H</i> (磁場), <i>R</i> (抵抗), <i>T_c</i> (温度), など ・物理量または番号に対応する添字: <i>Ga_{1-x}Al_xAs</i> (<i>x</i> =0.1), <i>X_n</i> (<i>n</i> -th), など ・座標: <i>x</i> -axis, <i>z</i> -axis, など ・ラテン語の省略形: <i>ca.</i> , <i>e.g.</i> , <i>et al.</i> , <i>in situ</i> , など
本文中でイタリック体にしない例 ・単位: km, K, Hz, など ・元素記号: Si, Au, など ・虚数: <i>i</i> , <i>j</i> ・演算記号: log, sin, exp, lim, d (微分), e, ln, など ・言葉の意味を表す添字: C _g (g: gas), X _e (e: electric), など

0.4~0.7mm, 細線は0.2~0.5mmになることが望ましい。

6.3 表はA4判の用紙に書く。

6.4 写真には標準寸法を記入し、読者が絶対的な寸法を理解できるようにする。

6.5 図, 表, 写真は本文とは別個に作成し, 挿入位置を本文原稿の右側の余白に朱記することによって指定する。

6.6 図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可を取り, 図表中の説明文に引用元ならびに転載許可されている旨を明記すること。

例) 1) Reproduced with the permission from 出版社名, Copyright (20△△).

7. 単 位

7.1 単位は原則として国際単位系 (SI) による。ピリオドや複数の *s* はつけない。単位記号 (*s*, *V*, *Ω*, など) と単位の名称 (second, volt, ohm, など (これらは複数の場合 *s* を必要とする)) を混用しない。

7.2 単位記号の例

別表1を参照のこと。

7.3 単位の積と商は次のいずれかの記法で表す。m·NまたはNm (二つの単位の間スペースをおく)

m·s⁻¹またはm/s

不確かさを避けるため, 括弧つきで用いるのでない限り, 同じ式の中で斜線 (/) は1回だけしか使用してはならない。また同様の理由で, 括弧つきで用いるのでない限り, 分母を二つ以上の単位の積で表さない。

m·s⁻² またはm/s²

m·kg·s⁻³·A⁻¹ またはm·kg/(s³·A)

m·V⁻¹·s⁻¹ またはm/(V·s)

7.4 単位の接頭語 (E, P, T, G, M, k, h, da, d, c, m, μ, n, p, f, a) は組立単位においては一つだけ用いる。

1mmF (不可)→1μF

1kg/cm² (不可)→10Mg/m²

1μΩ·cm (不可)→10nΩ·m

8. イタリック体に関する注意について

別表2に示す。

9. 字数換算

A4原稿3枚で刷上がり1頁に相当する。また図 (8×7cm) は6個で刷上がり1枚に相当する。

10. 校 正

掲載が決定した原稿は, 著者による校正を1回行う。校正は印刷上の誤りのみとし, それ以外の加筆, 訂正, 削除は原則として認めない。

11. 別 刷

別刷は有料とし, 著者は最低50部を購入しなければならない。著者校正依頼時に申込書を同封するので, 必要事項を記入のうえ, 校正刷とともに編集委員会に返送すること。

12. カラー印刷

カラー印刷は著者がそれにかかる費用を負担することに同意した場合のみ行う。

Notice to Authors for Preparation of English Manuscripts for "TANSO"

Revised September 1, 2012
Effective September 1, 2012

1. Qualifications of Authors

At least one of the authors submitting a manuscript should preferably be a member of the Carbon Society of Japan. However non-members are also welcome to submit a paper.

2. Categories of Articles

The following 7 publication categories are available: (1) Research Papers, (2) Rapid Communications, (3) Short Papers, (4) Integrated Papers, (5) Accounts, (6) Review Papers, (7) Technical Reports, (8) Reference Data, and (9) TANSO News. Articles should deal with research in the field of carbon materials.

2.1 Research Papers

Research Papers should describe original work with important new results. Research Papers are limited to six journal pages.

2.2 Rapid Communications

Rapid Communications are intended for rapid publication of novel and significant work, and limited to two journal pages. Rapid Communications are reviewed expeditiously, and, if accepted, will be published in the issue of TANSO following the date of the receipt of the manuscript. However, when the date of the receipt of a manuscript is close to the publication date of the next issue, it may be published in the following issue.

2.3 Short Papers

Short Papers are short scientific reports containing new and valuable facts or results even if they are fragmentary. Short Papers are limited to three journal pages.

2.4 Integrated Papers

Integrated Papers should be arranged to briefly combine several research papers that have been already published by, at least, one of the submitting authors, and should contain original aspects and discussions. Integrated Papers are limited to ten journal pages.

2.5 Accounts

Accounts should give an extensive account of an important research topic of current interest including work of other researchers to give a bird's-eye view of the field with a clear perspective of the authors. Accounts are limited to ten journal pages.

2.6 Review Papers

Review Papers should plainly give an expository (explanatory) description on a specific issue. Review Papers are limited to ten journal pages.

2.7 Technical Reports

Technical Reports contain new technical insights into the research of carbon materials. They report, for example, on the synthesis, preparation and production of carbon materials, and on the design, testing and operation of carbon-related apparatus or plants. Technical Reports are limited to three journal pages.

2.8 Reference Data

Reference Data give referential information on research and technology, and reports of survey and statistics in the field of carbon materials. Reference Data are limited to four journal pages.

2.9 TANSO News

TANSO News includes correspondence to the editorial board, general news on carbon, *etc.*, and are mostly limited to one journal page.

3. Processing of Publications

All manuscripts should be submitted by the MS-Word or the PDF file. When accepted, final manuscripts should be sent by the MS-Word file. The files of the manuscripts should be sent to the following E-mail address. If it is difficult to send the files with E-mail (*e.g.*, the file is over 10MB), authors are able to send the files in a CD to the following address of the Editorial board.

E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp

Editorial Board

The Carbon Society of Japan

International Academic Printing Co., Ltd.

4-4-19 Takadanobaba, Shinjyuku-ku, Tokyo 169-0075, Japan

Telephone: +81-(0)3-5389-6492

Fax: +81-(0)3-3364-0041

The Editorial Board of TANSO reserves the right to accept or reject submitted manuscripts. It can also request authors to revise their manuscripts.

3.1

The "received" date is the date when a manuscript arrives at the office of The Carbon Society of Japan. The date of "acceptance" is the date when the Editorial Board decides to accept a manuscript for publication.

3.2

The Editorial Board will pass manuscripts to a referee for comments, based on which the Board will decide whether or not to accept the manuscript for publication.

3.3

When a revision is requested, authors must return the revised manuscript within three months.

3.4

The right to permit printing or publishing the articles appeared in "TANSO", the Journal of the Carbon Society of Japan, and citing or reproducing figures and tables thereof, as well as the public transmission right for publication on the internet, *etc.* come under the jurisdiction of the Carbon Society of Japan. The right to license databasing, secondary use and electric/optical copying of the articles (including Abstracts in English) is entrusted to the Carbon Society of Japan. The royalties thereof belong to the Carbon Society of Japan.

3.5

The articles of Research Papers, Short Papers, Integrated Papers, Accounts, Review Papers, and Technical Reports appeared in "TANSO" are also available on the web site in a period of time after the publishing. The Rapid Communications are available soon after the publishing.

4. Manuscript Requirements

Manuscripts should be prepared in accordance with the following requirements.

(Typescript)

4.1

Manuscripts should be prepared by using the MS-Word. Authors should look at the style of the most recent issue of the Journal. Typescripts is times new Romam. Each paragraph should begin after 5

spaces, and hyphenation at the end of lines should be avoided.

4.2

The title of the paper and the names of the authors should be written on the first page. Affiliation(s) and address(es) of authors are written at the bottom of the first page of manuscripts using a footnote. The corresponding author should be identified with symbol (*) and footnote, including E-mail address.

Authors should consult a recent issue of the journal for style if possible.

4.3

The title should be concise but informative enough to facilitate information retrieval.

4.4

An abstract should be prepared for each category of manuscripts except TANSO News. The abstract should not exceed 200 words for Research Papers, Integrated Papers and Review Papers, and 100 words for Rapid Communications, Short Papers, Technical Reports, Reference Data. Authors should list a maximum of five key words. Each keyword would be preferably selected out of the Keywords from Table 1 in a page for preparation of the manuscript for Tanso.

4.5

Sections should be given Arabic numbers with subsections numbered using the decimal system, e.g., 1., 2., 1.1, 1.2, 1.1.1, 1.1.2, ...

4.6

A printed page corresponds to approximately 1000 words without tables and figures. A double-spaced A4 manuscript page corresponds to approximately 300-400 words.

4.7

All pages of the manuscript should be numbered consecutively.

4.8

Authors should clearly indicate any special characters used.

4.9

SI units should be used as much as possible.

4.10

Abbreviations or acronyms may be used in the text without definition when the meaning is clear. It is advisable, however, to define them the first time they appear.

EXAMPLES

- 1) heat treatment temperature (HTT)
- 2) scanning electron microscope (SEM)

(Tables and Figures)

4.11

Tables and Figures should not be included in the text, but should on the separate pages.

4.12

Tables and Figures should be numbered in their order of appearance in the text (e.g., **Table 1** and **Fig. 1**).

4.13

Self-explanatory table titles and figure captions (including photographs) should be given.

4.14

A list of figure captions should be provided on a separate page.

4.15

Figures will be reproduced within the width of one (8.5 cm) or two columns (17.5 cm) and a maximum height of 25 cm. Six figures of 8×7 cm correspond to one journal page.

4.16

Figures can only be reproduced in color at the author's expense.

4.17

To reproduce the materials of Tables and Figures published, it is the obligation of the author to secure permission from the publisher before the submission. The fact that such permission has been granted should be appropriately shown in the captions of Tables and Figures. For example: Reproduced with the permission from the name of publisher, Copyright (20△□).

(References)

4.18

References should be indicated in the text in the form: Ootani¹⁾; carbon fiber²⁾, for example. References should be numbered consecutively in the text and listed at the end of the text in the following form:

- 1) S. Mizushima, *TANSO* **1968** [No.52] 9-12.
- 2) S. Evans and H. Marsh, *Carbon* **9** (1971) 733-738.
- 3) C. J. Kepert and M. J. Rosseinsky, *Chem. Commun.* **1999** 375-376.
- 4) T. Terai, T. Furuta, K. Kusagaya and Y. Takahashi, *Jpn. J. Appl. Phys.* **30** (1991), in press.
- 5) T. L. Barr, *Modern ESCA* (1993) pp.121-123, CRC Press, Boca Raton.
- 6) L. R. Radovic and F. Rodriguez-Reinoso, *Chemistry and Physics of Carbon*, Vol. 25 (P. A. Thrower, ed.) (1997) pp.243-358, Marcel Dekker, New York.
- 7) N. Bartlett and B. W. McQuillan, *Intercalation Chemistry* (S. M. Whittingham and A. J. Jacobsen, eds.) (1982) Chap. 2, Academic Press, New York.
- 8) T. Aoki, The 44th Annual Meeting of the Physical Society of Japan, Chiba, 1990.3.15-18, 6a-M3.
- 9) K. Nueangnoraj, H. Nishihara, M. Terauchi and T. Kyotani, The 37th Annual Meeting of the Carbon Society of Japan, Himeji, 2010.12.1-3, 1PII39.
- 10) S. Shiraishi, M. Kibe and A. Oya, Carbon 2004, Providence, RI, USA, 2004.6.11-16, E022.
- 11) M. Inagaki, The 117th Committee Meeting of Japan Society for the Promotion of Science, 117-207-B-3 (1991) [in Japanese].
- 11) A. C. Smith, U.S. Patent 3390940 (1988).
- 12) The American Carbon Society Membership Form, <http://www.americancarbonsociety.org/forms/membership1.pdf>

(Contact address)

4.19

Address, telephone number, fax number, and E-mail address for contact should be given in the cover letter.

5. Proofs

The PDF files of the galley proofs will be sent to the submitting authors for final checking; equations and tables should be checked with special care. Changes at the galley stage should be limited to typographical errors.

6. Reprints

Authors are requested to purchase at least 50 reprints of the article. An order form will be sent to the authors with the proofs and should be returned with the corrected proofs to the E-mail address of Editorial office, The Carbon Society of Japan (tanso-edit@bunken.co.jp).

「炭素」原稿チェックリスト

投稿原稿の種類（○印を付ける）

1. 論文 2. 速報 3. ノート 4. 総合論文 5. 総説 6. 解説 7. 技術報告 8. 資料
9. 炭素ニュース

「炭素」投稿規定および投稿の手引きを参照し、以下のチェック項目を確認してください。

項目	検討内容	確認欄 (レ)
1. 用紙	A4用紙縦置き，横書き，35字×32行程度としているか。	
2. 表紙	原稿1枚目に表題，著者名が記されているか。	
	注釈で著者の所属機関および所在地が書かれているか。	
	Corresponding Authorに*を付し，脚注にE-mailアドレスが記されているか。	
3. 英文要旨	文章は規定文字数以内で書かれているか。（論文，総合論文，総説，解説は200語以内，速報，ノート，技術報告，資料は100語以内）	
	5個以内の英文キーワードが付いているか。	
	和訳が付いているか。	
4. 本文	用語は常用漢字，新かなづかいとなっているか。	
	章，節，項の記号はそれぞれ1., 2., 3., …, 1.1, 1.2, 1.3, …, 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, …となっているか。	
	略号に説明が付いているか。	
	国際単位系（SI）を用いているか。	
5. 引用文献	雑誌はすべて英文で記載しているか。また，日本語の雑誌の場合 [in Japanese] と記されているか。	
	本文中の引用箇所を上付きで ¹⁾ , ^{3,4)} , ⁶⁻⁹⁾ などの要領で記されているか。	
6. 図・表	本文原稿の右側余白に挿入位置が朱記されているか。	
	縮小を考慮して文字の大きさ，線の太さが十分であるか。	
	説明は英文で書かれているか。	
7. 頁数	図・表を含め刷上がり頁数が規定以内に収まっているか。 ただし，A4原稿は3枚，図は約6個で刷上がり1頁に相当する。（規定頁数はそれぞれ論文6頁，速報2頁，ノート・技術報告・資料3頁，総合論文・総説・解説10頁，炭素ニュース1頁）	